

# 映画「ミリキタニの猫」《特別篇》

THE CATS OF MIRIKITANI

## 1 「ミリキタニの猫」

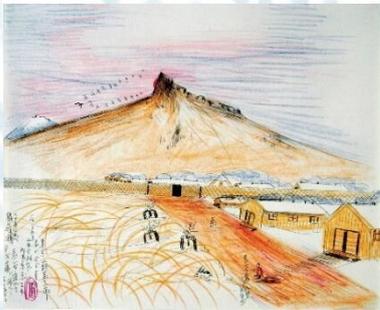
(リンダ・ハッテンドーフ監督/2006年・74分)

80歳の日系アメリカ人画家は、そーとー頑固でワイルドだけど、実はおちゃめな面もあるじーさん。サクラメントに生まれて広島で育ち、2001年には、世界貿易センターが間近に見えるニューヨークの路上で、猫の絵を毎日描いて暮らしていた。なぜ猫なのか。なぜ路上で暮らすのか。ミリキタニは巨匠(グランドマスター)アーティストなのか？それとも空手チャンピオン？あるいはサムライか？過去が徐々に明らかになり、激動の生涯を、絵を通して表現しているのが分かってくる。美しさとユーモアが悲しみや喪失感と混じり合い、長年の心の傷が友情とアートによって癒される様子を映し出す。小さな奇跡が次々と起こり、見る人に希望と強く生きる力を与えてくれる。猫、アート、平和を愛する人にはこたえられない映画だ。

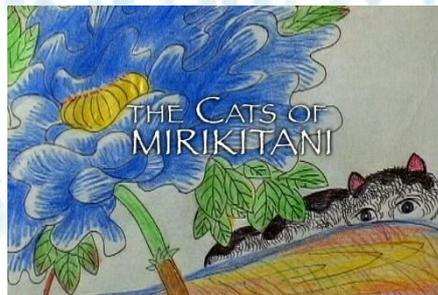
## 2 「ミリキタニの記憶」

[短編](Masa 監督/2016年・21分)

「ミリキタニの猫」以前のミリキタニを知る人の証言、写真、絵でつづられた、ミリキタニの「過去」をめぐる旅。東京にいる3人、広島の「親戚」、そしてニューヨークでは晩年を良く知る存在にインタビュー。日系人強制収容所で作られた作品の展覧会「尊厳の芸術展」でもミリキタニの絵が展示されていた。



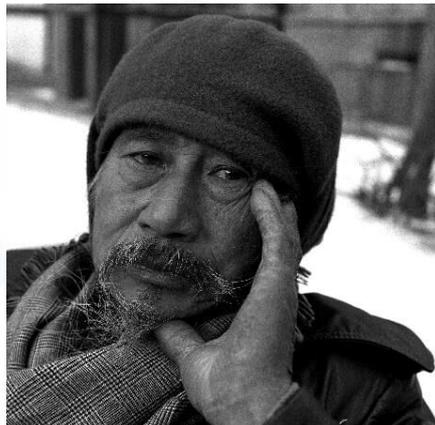
© Jimmy Tsutomu Mirikitani



© Lucid Dreaming, Inc



提供 Linda Hattendorf



佐藤哲郎撮影

## 猫とアートと戦争と…

フライド

(そして尊厳)



© Jimmy Tsutomu Mirikitani